2025年度全国通訳案内士試験（国家試験）

英語、フランス語、スペイン語、ドイツ語、中国語、イタリア語、ポルトガル語、ロシア語、韓国語、タイ語

願書申請期間：6月2日（月）（予定）～7月10日（木）

筆記試験：8月17日（日）　口述試験：12月14日（日）

観光庁長官試験事務代行機関　独立行政法人国際観光振興機構【通称：日本政府観光局（JNTO）】

施行要領

目　　次

1. 試験科目……2
　(1) 筆記試験……2
　(2) 口述試験……2
2. 試験日時、受験資格、受験地、結果通知について……2
　(1) 筆記試験……2
　(2) 口述試験……3
3. 願書の申請期間及び申請方法等……4
　(1) インターネットによる電子申請……4
　(2) 写真について……9
　(3) 申請完了後の変更について……10
　(4) 二カ国語受験について……11
4. 受験手数料……12
　(1) 手数料額……12
　(2) 支払方法……12
5. 免除申請について……13
6. 免除申請早見表……20
　(1) 英検免除　(2) TOEIC免除　(3) 仏検免除　(4) 西検免除　(5) DELE免除 (6) 独検免除
　(7) 中検免除　(8) HSK免除　(9) 華語検免除 (10) 伊検免除　(11) ハン検免除
　(12) TOPIK免除　(13) 旅取免除　(14) 歴検免除　(15) 共通テスト日本史B/旧日本史B免除
　(16) 共通テスト現代社会/旧現代社会免除　(17) 前年度一部合格科目免除
　(18) 前年度5科目合格者免除 (19) (他の外国語での) 既合格者免除
　(20) 地域限定通訳案内士試験合格者免除
7. 受験票の交付……23
8. 試験当日の注意事項について……23
9. 合格後の手続き……23
10. お問い合わせ先……24
11. 個人情報保護方針について……24
12. よくある質問 (Q&A) ……25

施行要領には最終合格発表までのことが書かれています。全ての試験が終了するまで保管してください。

試験実施に関し、変更がありましたら、日本政府観光局（JNTO）ホームページ
「2025年度全国通訳案内士試験」に掲載しますので、適宜、御確認ください。
https://www.jnto.go.jp/projects/visitor-support/interpreter-guide-exams/exam.html

【本試験を受験される方へ】

本試験は、願書申請手続を始め、受験票の公開、結果通知、合格証書の交付まで、すべてインターネット上、電子申請システム（https://shiken.jnto.go.jp/）内の個人ページ（以下、マイページ）にて行います。インターネットに接続可能な環境及びウェブページが閲覧可能なデバイス（パソコンやスマートフォン等）をご用意いただけますようお願いいたします。

１．試験科目

（１）筆記試験　＜全科目マークシート方式＞

午前①　外国語（以下の 10 か国語から選択）

英語、フランス語、スペイン語、ドイツ語、中国語、イタリア語、ポルトガル語、ロシア語、韓国語、タイ語

午後②　日本地理

③　日本歴史

④　産業・経済・政治及び文化に関する一般常識

⑤　通訳案内の実務

（２）口述試験

通訳案内の実務（通訳案内の現場で必要とされるコミュニケーションを図るための実践的な能力について、選択した外国語により判定）※選択外国語は、筆記試験と同一とする。

２．試験日時、受験資格、受験地、結果通知について

（１）筆記試験

・試験日時

2025 年 8 月 17 日（日）

試験科目	開場時間	着席時間（説明開始）	試験時間
外国語	10：00	10：45～11：00	11：00～12：30（90 分）
昼休み（12：30～13：10）			
日本地理	13：10	13：30～13：40	13：40～14：10（30 分）
日本歴史	－	14：30～14：40	14：40～15：10（30 分）
一般常識	－	15：30～15：40	15：40～16：00（20 分）
通訳案内の実務	－	16：20～16：30	16：30～16：50（20 分）

※試験時間は変更になる場合があります。詳細は電子申請システムトップページ及び受験票にてご確認ください。電子申請システムトップページ：https://shiken.jnto.go.jp/

・受験資格

年齢、性別、学歴、国籍等に関係なく、どなたでも受験できます。

・筆記試験受験地

札幌市、仙台市、東京近郊、名古屋市、大阪近郊、広島市、福岡市、沖縄県

※「東京近郊」「大阪近郊」には、近隣地域も含まれます。予めご了承下さい。

※試験会場は 8 月上旬頃に電子申請システム内のマイページに公開する受験票でお知らせします。
受験票の郵送による交付はありません。

※受験票公開前の試験会場に関するお問い合わせにはお答えできません。

※試験会場に直接電話等で照会することは、固くお断りします。

・筆記試験結果通知

2025 年 9 月 26 日（金）予定

受験者全員にマイページにて試験結果を公開します。郵送による交付はありません。

（2）口述試験

・試験日時

2025 年 12 月 14 日（日）

※試験会場及び試験時間は 11 月中旬頃にマイページで公開する口述試験受験票でお知らせします。
受験票は口述試験に進む方にのみ交付いたします。郵送による交付はありません。
受験票にて公開した試験会場及び試験時間は、変更できません。

・受験資格

筆記試験に合格した方（筆記試験を免除される方を含む）が受験できます。

・口述試験受験地

英語・中国語・韓国語：東京近郊、大阪近郊、福岡市

上記以外の外国語　　：東京近郊のみ

※英語、中国語、韓国語を選択された方で、筆記試験を「**札幌市、仙台市、名古屋市、広島市、沖縄県**」で受験された方は、口述試験受験地を「**東京近郊、大阪近郊、福岡市**」から選択していただきます。
筆記試験を「東京近郊、大阪近郊、福岡市」で受験された方は同一地域となります。

※二カ国語受験者は、二カ国語ともに同一の受験地・試験会場です。

・口述試験結果通知

2026 年 2 月 6 日（金）予定

① 官報にて合格者を発表します。
官報ウェブサイト　http://kanpou.npb.go.jp（発表日から一定期間のみ閲覧可能）

② 受験者全員に結果をマイページにて公開します。
最終合格者には全国通訳案内士試験合格証書を、不合格者のうち筆記試験５科目すべてを受験し合格した者には筆記試験合格証書を、それぞれマイページで交付します。
※郵送による交付はありません。
※筆記試験合格証書は、1 科目でも免除科目が含まれる場合は交付されません。

マイページでの合格証書交付期間：2 月 6 日（金）（予定）～2 月 28 日（土）

マイページは 2026 年 3 月 1 日（日）より閲覧できなくなります。合格証書の出力を済ませ、

筆記試験結果等の必要事項は必ず自身でお控えください。なお、閲覧停止後のマイページ内情報の再閲覧や掲載情報の問い合わせ等には応じられませんのでご注意ください。

３．願書の申請期間及び申請方法等

願書申請方法はインターネットによる**電子申請受付のみ**となります。

電子申請システムトップページ　https://shiken.jnto.go.jp/

※印刷物による願書等の配付は行っておりません。

※封書による印刷版願書・施行要領等の送付請求はお受けできません。

（1）インターネットによる電子申請

①願書申請期間

2025年6月2日（月）（予定）　～　7月10日（木）23：59（日本時間）

申請期間内であればいつでも申請可能です。7月11日（金）0：00以降は申請することができません。

また、事務局の営業時間は、平日10：00～17：00です。お時間に余裕をもって手続きを行ってください。

7月10日（木）23：59時点で、願書提出及び受験料支払（コンビニ決済を含む）が完了していない場合、申請は無効となりますのでご注意ください。

②申請方法

以下にアクセスして入力画面の指示に従って申請してください。

電子申請システムトップページ　https://shiken.jnto.go.jp/

※JNTOの2025年度全国通訳案内士試験に関するページからもアクセス可能です。

https://www.jnto.go.jp/projects/visitor-support/interpreter-guide-exams/exam.html

＜電子申請に関する注意事項＞

○メールアドレスについて

- **電子申請システムの利用には、メールアドレスのご登録が必要です。申請者ご自身のメールアドレスをご用意してください。メールアドレスを重複してご利用いただくことはできません。**
- **本試験に関連する重要な連絡をメールにて送付いたします。**
  自動返信メール noreply@shiken.jnto.go.jp からのメールを受信できるようにしてください。
- マイページ登録時のパスワード設定の制限時間は「メールアドレス登録のご連絡」メールを受信してから30分です。制限時間を過ぎた場合は、再度登録手続きを行ってください。

○申請情報の入力、申請書類について

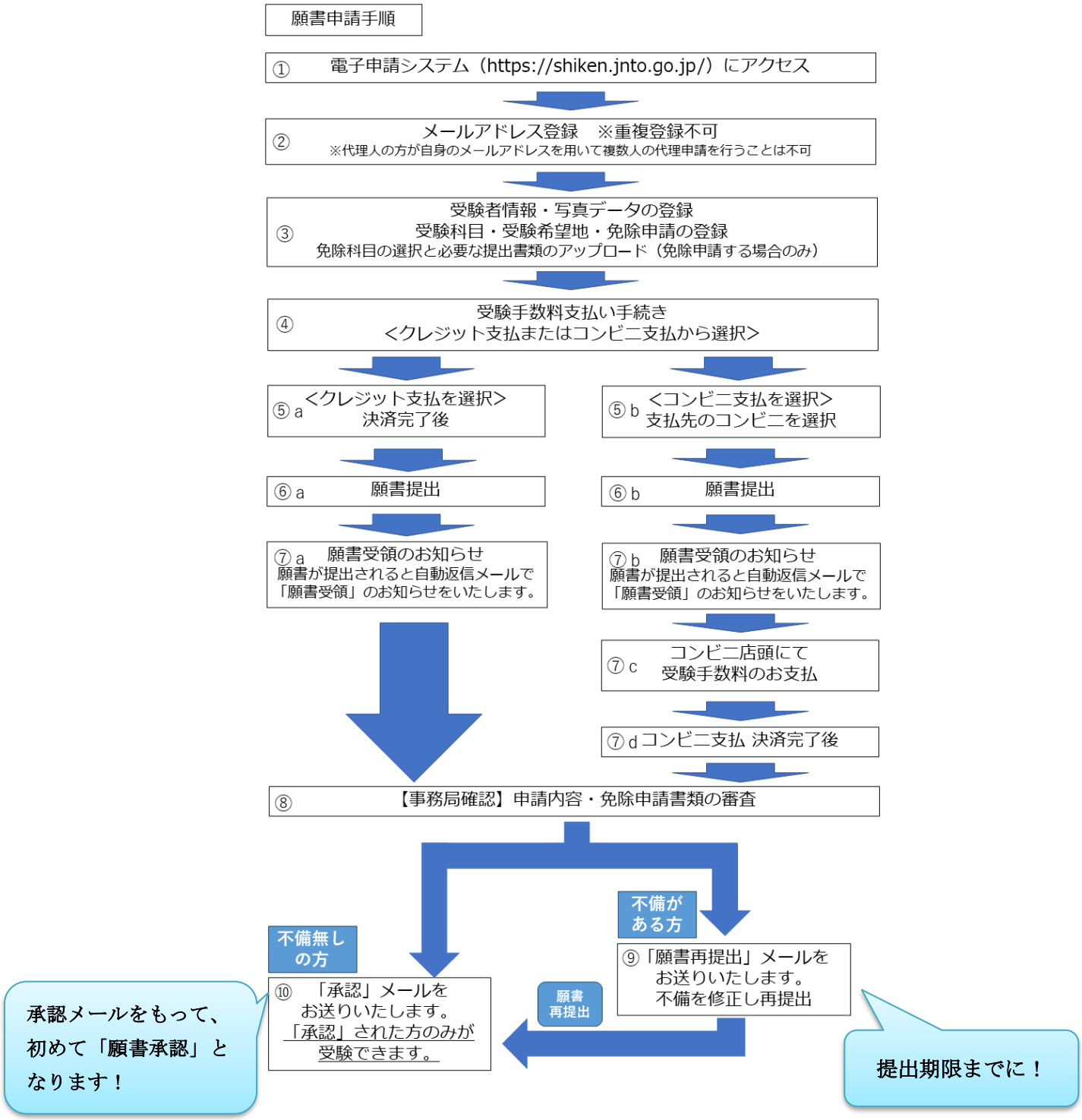
- 申請情報は申請者本人が入力してください。（代理人による申請はできません）
- 複数申請（願書提出）をした場合、すべての申請を無効とします。
- 免除申請書類は電子申請時にアップロードしていただきます。書類をスキャン機能にてPDFやJPEGに画像化してください。スマートフォン等で撮影した写真でも提出可能ですが、画像が不鮮明で審査できない場合は免除申請を受理できません。予めご了承ください。

○申請内容の審査について

・申請内容の審査には受験料支払いの**決済完了から約 3～5 営業日**かかる場合がございます。
特に申請開始日や締切日付近は、審査結果または申請内容不備のご連絡までお時間を頂きます。
審査の進捗や状況につきましては、個別の回答はできません。予めご了承願います。

○配慮申請について

・身体の障がい等により特別手配が必要な方は、必ず電子申請時に希望する配慮事項と、配慮が必要な理由を入力してください。診断書の提出が必要な場合があります。
また、補聴器等の使用機器がある場合は必ず事前にお申し出ください。メーカーや品番によっては会場に持ち込めない場合がありますので、配慮申請をされる際は、使用機器の名称や品番等も合わせて入力をお願いします。



③ 受験願書の入力方法

電子申請システム内の案内に従ってご入力ください。以下の各項目掲載ページも併せてご確認ください。

※電子申請システムトップページ　https://shiken.jnto.go.jp/

項目 ※は必須入力項目	注意事項	施行要領 掲載ページ
氏名　※	現在居住する国によって、入力方法が異なる。 「姓」と「名」に分けて入力。（ミドルネームがある場合は項目にミドルネームだけ入力） ローマ字（Roman alphabet）は、ブロックレターで正しく入力。 ●日本国籍かつ日本居住者　⇒　日本語（戸籍に記載されている氏名） ●上記以外　⇒　ローマ字（Roman alphabet）（パスポートに記載されている氏名） ※外国籍かつ日本居住者が持つ在留カードに漢字氏名が入力されている方は漢字も可。 特殊な漢字（画数が多く複雑なもの・微妙な違いで別の漢字となるもの・旧字体・異体字・別字体・中国語字体など）については、入力は出来ますが受験票等に反映されない場合があります。表現できない漢字はカタカナ表記となります。	P7
フリガナ　※	氏名のフリガナを入力。	なし
性別　※	該当するものを選択。	なし
生年月日　※	生年月日を西暦で入力。	P7
本籍（都道府県） （※本籍か国籍のいずれかを入力）	日本国籍かつ日本居住者のみ入力。本籍のある都道府県名を入力。※住所地ではありません。	P7
国籍 （※本籍か国籍のいずれかを入力）	外国籍の場合、または、日本国籍かつ外国居住者の場合のみ入力。 ●外国籍かつ日本居住者　⇒　在留カードに記載されている国名を選択・入力 ●外国籍かつ外国居住者　⇒　パスポートに記載されている国名を選択・入力 ●日本国籍かつ外国居住者　⇒　「JAPAN」を選択　※本籍の入力は不要。	P7
写真・写真撮影年月日　※	カラーまたは白黒で、最近6カ月以内に撮影した、無帽、上半身、正面、無背景で本人と確認できるもの。撮影日は申請日より6カ月以内に撮影した年月を入力。	P9
郵便番号	現住所の郵便番号を入力。例 100-0000　ハイフンを入力。	P7
住所　※	日本居住者は、住民票または在留カードの記載どおりに正しく、都道府県名も入れて入力。 また、外国居住者は国名を含めて入力。	P7
電話番号・携帯番号　※	必ず受験者本人の電話番号もしくは携帯番号を入力。外国の場合は、国番号も入力。 電話番号が複数ある場合は「緊急連絡先」に入力してください。	P7
FAX番号	入力は任意。外国の場合は国番号も入力。	なし
緊急連絡先種別　※	自宅・携帯番号・勤務先・その他より選択し入力。	P7
緊急連絡先 電話番号・携帯番号　※	携帯電話・勤務先等、日中に連絡の取れる連絡先番号を入力。 申請者本人以外を連絡先とする場合は申請者との続柄、代理人・家族の氏名等を具体的に入力。	P7
希望する配慮事項	車いす、機器の使用など希望する配慮事項がある場合は入力。	P5
受験外国語　※	受験する外国語について施行要領を参照の上、選択して入力。 筆記試験を免除申請する場合も入力。	P7-8
受験第二外国語 （二カ国語受験の場合必須※）	二カ国語受験の方は受験第二外国語を入力。 ※「受験第二外国語」は筆記試験免除を申請する外国語。免除申請ができない場合は受験不可	P11-12
簡体字・繁体字 （中国語の場合必須※）	受験外国語が中国語の場合は簡体字・繁体字どちらかを選択。	P7-8
筆記試験受験地　※	施行要領で確認の上、受験地を選択して入力。 すべての受験科目に免除申請を行う方、または2024年度筆記試験合格証書を持ち、筆記試験免除（前年度5科目合格者免除）申請をする方は「免除」を選択して入力。 ※願書承認後の受験地の変更はできません。	P8
口述試験受験地　※	施行要領で確認の上、受験地を選択して入力。筆記試験の受験地との組合せを確認する。 ※願書承認後の受験地の変更はできません。	P8
免除科目申請 （二カ国語受験の場合必須※）	申請する免除科目を選択。	P13-22

【氏名・生年月日・本籍・国籍】

・氏名・生年月日・本籍・国籍は、以下の入力要領に従って入力してください。

※入力内容に誤りがあると、試験に合格しても都道府県知事の登録を受けることが出来ない場合があるのでご注意ください。受験票や結果通知、合格証書など試験関連書類は、戸籍どおりの漢字を印字できない場合、カタカナ等に変更されることがあります。予めご了承下さい。

・本籍、国籍はプルダウンメニューより選択してください。プルダウンメニューにない国籍の場合は「その他」を選択し、国籍を入力してください。

（入力要領）		氏 名	生年月日	本籍・国籍
日本国籍	日本居住者	**戸籍**に記載されている氏名を入力　※ローマ字は不可	西暦で入力	**戸籍**に記載されている本籍の都道府県を選択　※国籍は不要

（入力要領）		氏 名	生年月日	本籍・国籍
日本国籍	日本非居住者（海外在住）	**パスポート**に記載されている氏名を**ローマ字（Roman Alphabet）**で入力 ※漢字氏名は不可	西暦で入力	**国籍から「Japan」**を選択 ※本籍（都道府県）は不要。
外国籍	日本居住者（外国人登録を受けた者）	**在留カード**に記載されている氏名を**ローマ字（Roman Alphabet）**または**漢字**で入力	西暦で入力	**在留カード**に記載されている国籍を選択または入力 ※本籍（都道府県）は不要。
外国籍	日本非居住者（海外在住）	**パスポート**に記載されている氏名を**ローマ字（Roman Alphabet）**で入力 ※漢字氏名は不可	西暦で入力	**パスポート**に記載されている国籍を選択または入力

〔注〕受験するために日本に入国する際に、査証発給のための招聘状発行や身元保証等の手続きが必要となる場合、事務局ではそれら手続きに関する事務には対応いたしかねますのでご了承ください。

【住所・連絡先】

・現住所欄には、日本居住者は住民票または在留カードの記載どおりに入力してください。

郵便番号・都道府県・市区町村・番地・建物名・号棟・部屋番号まで漏れなく入力して下さい。

（外国居住者は国名を含めて入力し、電話番号は国番号を含めて入力してください）

・緊急連絡先欄には日中に連絡可能な携帯電話番号、勤務先等の名称を入力してください。

緊急連絡先種別が「その他」の場合は、代理人・ご家族の氏名等、種別を具体的に入力してください。

万が一、申請内容等の確認が急ぎ必要な際、ご本人様とご連絡が取れない場合に、事務局より緊急連絡先にご連絡する可能性がございます。予めご了承ください。

【受験外国語】

・受験外国語欄は全国通訳案内士の資格を取得しようとしている外国語を選んで入力してください。

願書承認後の受験外国語の変更・追加はできません。

※中国語は簡体字と繁体字のどちらかを選択してください。なお、簡体字と繁体字は一部問題が異なる場合があります。

【受験地】

受験地は以下表中から該当する受験地を選んで入力してください。

表： 受験外国語／筆記・口述試験別 受験地一覧

<table>
<tr><th>受験外国語科目</th><th>筆記試験受験地（選択可）</th><th colspan="2">口述試験受験地（選択制限あり）</th></tr>
<tr><td rowspan="4">英語
中国語（簡体字）
中国語（繁体字）
韓国語</td><td>1．東京近郊</td><td>1．東京近郊</td><td rowspan="3">筆記試験
と同一地域</td></tr>
<tr><td>2．大阪近郊</td><td>2．大阪近郊</td></tr>
<tr><td>3．福岡市</td><td>3．福岡市</td></tr>
<tr><td>4．札幌市
5．仙台市
6．名古屋市
7．広島市
8．沖縄県</td><td colspan="2">1．東京近郊
2．大阪近郊
3．福岡市
から選択</td></tr>
<tr><td>フランス語
スペイン語
ドイツ語
イタリア語
ポルトガル語
ロシア語
タイ語</td><td>1．東京近郊
2．大阪近郊
3．福岡市
4．札幌市
5．仙台市
6．名古屋市
7．広島市
8．沖縄県</td><td colspan="2">1．東京近郊</td></tr>
<tr><td>・筆記試験すべての科目の免除申請を行う方
・2024 年度筆記試験合格証書を持ち、筆記試験免除申請を行う方</td><td>9．免除
筆記試験受験地は「免除」を選択（下図参照）</td><td colspan="2">1．東京近郊
2．大阪近郊
3．福岡市
から選択
※英語・中国語・韓国語以外は東京近郊のみ</td></tr>
</table>

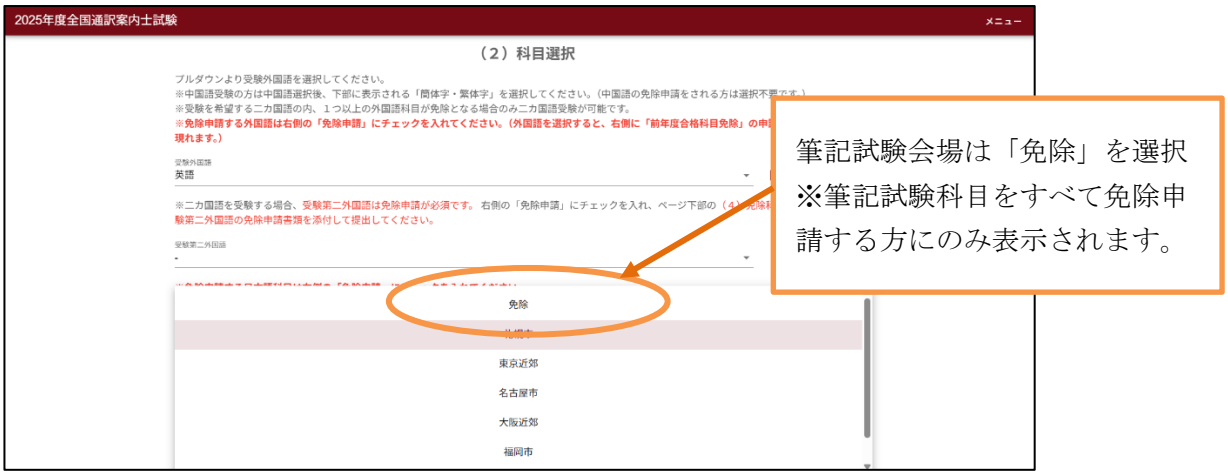
※二カ国語受験者は、二カ国語ともに同一の受験地・試験会場です。

※二カ国語受験する方で、受験外国語に英語、中国語、韓国語以外の外国語が含まれる場合、口述試験受験地は**東京近郊**となります。

※英語、中国語、韓国語を選択された方で、筆記試験を「札幌市、仙台市、名古屋市、広島市、沖縄県」で受験された方は、口述試験受験地を「東京近郊、大阪近郊、福岡市」から選択していただきます。

※願書承認後の受験地の変更はできません。

図： 筆記試験すべての科目の免除申請を行う方



（2）写真について

写真は電子申請システム内のマイページよりアップロードしてください。

（アップロードとはパソコンまたは携帯電話・スマートフォン内の画像ファイルを送信することです。
電子申請システム内の「写真をアップロード」ボタンをクリックすると画像の選択・保存ができます）

試験会場で本人確認をする際に用いますので、**履歴書に貼り付けるような、顔がはっきり判別できる写真データをアップロードしてください。**

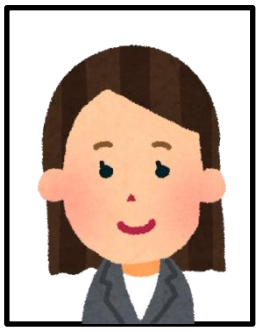
写真の形式は JPEG（ジェイペグ）によるファイルサイズ 10MB（メガバイト）以下のデジタル写真とし、規定サイズ内の写真を用意してください。（縦・横のサイズはアップロード時に自動調整します）

なお、携帯電話・スマートフォン等で撮影したものでも構いませんが、以下の規定を厳守してください。

【写真サイズの規定】

240 ピクセル（3cm）

320
ピクセル
（4cm）



【写真内容の規定】

○カラー又は白黒で、**申請日より 6 カ月以内**に撮影したもの

○縦 320 ピクセル×横 240 ピクセル（縦 4cm×横 3cm）

○無帽、無背景で、ご本人のみが写っているもの

○自然な表情で、目をしっかり開けた状態で撮影されたもの

○体全体が正面を向き、カメラ目線で撮影されたもの

○受験時に眼鏡を使用する場合、眼鏡をかけて撮影したもの

（当日の着用有無が未定の方は、眼鏡を外した状態で撮影して下さい）

○本人の肩から上、頭頂部まで顔や輪郭がはっきりと判別できるもの

※以下の NG 例にあたる写真は申請写真として認められません。



（3）申請完了後の変更について

願書が審査の結果承認された後に、以下の申請内容に変更が生じた場合は、マイページよりご自身で変更してください。

・マイページログイン用メールアドレス、パスワード

※事務局から試験に関する情報をメールにてご連絡することがあるため、常に受信可能なメールアドレスを登録してください。

・住所、電話番号、緊急連絡先

・希望する配慮事項　**※申請内容の変更後は、お問い合わせフォームへ必ずご連絡ください。**

以下の申請内容を変更する場合はマイページにて指定する書類のアップロードが必要です。
該当書類をアップロード後に事務局までご連絡ください。（変更手続きは事務局にて行います）

・氏名
・本籍、国籍
・性別
・生年月日

※変更手続きの時期により、受験票・結果通知・合格証書を変更前の情報で交付する場合があります。

【登録変更早見表】

項目	期間		
	願書提出～承認前	願書承認後～口述試験受験票交付前まで	口述試験受験票交付後～結果通知発表
郵便番号・住所 電話番号・携帯番号 緊急連絡種別 緊急連絡先電話番号（携帯番号） メールアドレス パスワード	○　※いつでもマイページより変更可能です。		
氏名（姓名）・フリガナ 本籍・国籍 性別 生年月日	○	● 要提出書類をアップロード後、事務局までお問い合わせください。 ※変更手続きの時期により、受験票・結果通知・合格証明を変更前の情報で交付する場合があります	×
希望する配慮事項	○	● 申請後は事務局まで必ずご連絡ください。	×
受験外国語 受験第二外国語 希望受験地 免除科目	○	×	×

「●」のマークのある項目（氏名・本籍・国籍など）を変更する際に提出が必要な書類

変更の際は以下の書類をアップロードしてください。以下に記載の無い書類は原則不可です。

【日本国籍の方】※発行日から６カ月以内のものでいずれか１つ

氏名または本籍が変更の場合：全部事項証明書（戸籍謄本）・個人事項証明書（戸籍抄本）

婚姻による氏名変更の場合：婚姻届受理証明書

※自動車運転免許証は不可

【外国籍の方】※有効期限内のものでいずれか１つ

在留カード・パスポート

（4）二カ国語受験について

受験を希望する二カ国語の内、1つ以上の外国語科目が免除となる場合は二カ国語受験が可能です。
受験科目の免除については、免除申請早見表（P.20～22）をご参照ください。

	申請パターン	受験外国語	受験第二外国語	申込可否
筆記試験会場での受験・免除	①	受験	**免除**	**〇申込可**
	②	**免除**	**免除**	**〇申込可**
	③	受験	受験	×申込不可

■申請パターン①：外国語免除科目が1つ

【願書への入力方法】

「受験外国語」　：筆記試験会場で受験する外国語
「受験第二外国語」：免除申請する外国語

【筆記試験】

・「受験外国語」と、「日本地理」「日本歴史」「産業・経済・政治及び文化に関する一般常識」「通訳案内の実務」のうち、免除対象となっていない科目を受験してください。

【口述試験】

・筆記試験に合格した場合、口述試験は同じ試験会場で二カ国語をそれぞれ異なる時間帯に受験します。

	筆記試験結果	口述試験
受験外国語	合格	同じ会場で受験（A時間）
受験第二外国語	免除	同じ会場で受験（B時間）
外国語以外の科目	合格　※免除を含む	－

・筆記試験で受験した外国語が不合格で、「日本地理」「日本歴史」「産業・経済・政治及び文化に関する一般常識」「通訳案内の実務」がすべて合格または免除の場合、「受験第二外国語」（免除申請した外国語）の口述試験のみ受験してください。

	筆記試験結果	口述試験
受験外国語	不合格	受験不可
受験第二外国語	免除	申請した会場で受験
外国語以外の科目	合格　※免除を含む	－

■申請パターン②：外国語免除科目が2つ

【願書への入力方法】

「受験外国語」　：免除申請する外国語
「受験第二外国語」：免除申請する外国語

【筆記試験】

・「日本地理」「日本歴史」「産業・経済・政治及び文化に関する一般常識」「通訳案内の実務」のうち、免除対象となっていない科目を受験してください。

【口述試験】

・筆記試験に合格した場合、口述試験は同じ試験会場で二カ国語をそれぞれ異なる時間帯に受験します。

	筆記試験結果	口述試験
受験外国語	免除	同じ会場で受験（A 時間）
受験第二外国語	免除	同じ会場で受験（B 時間）
外国語以外の科目	合格　※免除を含む	－

４．受験手数料

（１）手数料額

一カ国語受験につき、14,850 円です。二カ国語で受験される方は、29,700 円となります。

※日本円のみ受け付けます。

※原則、領収書の発行はしておりません。必要な場合には**2025 年 12 月 21 日（日）までに**全国通訳案内士試験事務局までメールにてご連絡ください。**期日を過ぎた場合は領収書の発行はできません**のでご注意願います。

※免除の有無による受験手数料の減額はありません。

※受領した受験手数料は、通訳案内士法 第 10 条の規定により返還いたしません。

（２）支払方法

クレジットカード又はコンビニエンスストアでのお支払いのみ受け付け可能です。

郵便、銀行振替送金でのお支払いはできませんので予めご了承ください。

電子申請システムの入力画面の指示に従ってオンラインで手続きをしてください。

①【クレジットカード支払】

VISA、MASTER、JCB、AMEX、DINERS、DISCOVER が使用できます。

一カ国語受験の場合　15,345 円（受験手数料 14,850 円＋事務手続手数料 495 円）

二カ国語受験の場合　30,686 円（受験手数料 29,700 円＋事務手続手数料 986 円）

②【コンビニ支払】

日本国内のセブンイレブン、ローソン、ファミリーマート、セイコーマート、ミニストップ、デイリーヤマザキの店舗でお支払いができます。**支払期限内（願書受領メールの受信日含む 5 日間）にお支払いください。**

一カ国語受験の場合　15,200 円（受験手数料 14,850 円＋事務手続手数料 350 円）

二カ国語受験の場合　30,248 円（受験手数料 29,700 円＋事務手続手数料 548 円）

《コンビニ支払の注意事項》

・支払決済が確認できた方より申請内容の審査を行います。支払期限に関わらず、お早めにコンビニ店頭での支払手続きを行ってください。

・支払期限を過ぎた場合は事務局までご連絡ください。

・マイページ上の支払期限は、仕様上「申込日の 6 日後 0:00」表記となりますが、願書申請最終日の支払期限は、最終日当日（7 月 10 日）の 23：59 までです。以降の支払手続きは出来ませんので、ご注意ください。

５．免除申請について

免除申請早見表（P.20～22）の（1）から（20）に該当する方は、筆記試験科目の一部または全科目の免除を申請できます（通訳案内士法第７条）。免除申請される方は必ずお読みください。

過去に免除申請を行った方も、今年度試験において免除申請を行う場合は、あらためて申請を行ってください。免除申請に必要な証明書類（合格証明書等）もあらためて提出が必要となりますので、免除申請早見表に記載の該当する証明書類をご用意の上、願書申請期間内（6 月 2 日（予定）～7 月 10 日厳守）にマイページよりアップロードしてください。

免除申請書類が申請期間内にアップロードされない場合（7 月 11 日（金）以降）は、免除申請は受理されません。お時間に余裕をもって申請手続きを行ってください。なお、免除申請に必要な事項の確認ができなかった場合は、免除申請はできません。**また、願書承認後の免除申請の追加・変更はできません。**

《申請内容の審査について》

免除申請内容は事務局にて審査を行います。**審査には願書提出日（コンビニ決済の場合は決済完了日）から約 3～5 営業日程お時間がかかります。予めご了承ください。審査結果（不備または承認連絡）についてはメールにてご案内いたします。なお、審査の進捗状況につきまして、個別に回答することはできません。**

《免除申請に必要な証明書類について》

・合格証明書等の入手方法は各試験実施団体にお問い合わせください。
　合格証明書等がお手元に届くまでお時間がかかる場合がございます。申請期間内に提出できるよう、ご注意ください。書類未達による科目免除申請への特別措置はありません。
・各検定試験実施中止による科目免除申請への特別措置はありません。

各資格・スコア取得以降に氏名の変更がある場合、氏名変更を公的に証明する書類のご提出が必要です。
以下の証明書類の中から**いずれか１点**を『氏名変更証明書』の項目にアップロードしてください。
（自動車運転免許証は不可です。以下の書類が用意できない場合は事務局までご連絡ください）
【日本国籍の方】※発行日から 6 カ月以内
　全部事項証明書（戸籍謄本）・個人事項証明書（戸籍抄本）・婚姻届受理証明書
【外国籍の方】※有効期限内のもの
　在留カード・パスポート

《2024 年度全国通訳案内士試験の筆記試験受験者・既合格者について》

・2024 年度試験にて、筆記試験を受験して合格した科目は**2025 年度に限り免除申請**ができます。
　（2023 年度以前の試験結果や免除した科目は対象外です）
・2024 年度試験の**合格科目が自動的に免除になることはありません。**科目免除を希望する方は必ず免除申請を行ってください。**免除申請には「2024 年度試験の受験番号（５ケタ）」が必要**です。
・既合格者免除申請においては合格番号等の情報が必要となります。予め合格証書をご用意ください。
・**免除申請内容（受験番号・合格科目・合格番号等）に誤りがある場合、免除申請は受理できず、申請手続きを進行することが出来ません。**ご自身の受験番号・合格科目・合格番号等の免除申請に必要な情報が不明な方は**申請前に**事務局までお問い合わせください。

《TOEIC 及び大学入学共通テストの免除申請について》

・**TOEIC 及び大学入学共通テストによる免除申請の提出書類には有効期限があります。有効期限外の資格による免除申請はできません。**有効期限は免除申請早見表（P.20～22）をご確認ください。

・TOEIC についてはデジタル認定証による申請も有効です。（URL 送付は不可）

〇大学入試センターより発行される「開封無効」の書類を証明書類とする方

開封せずに封筒のまま郵送にてご提出ください。開封されている書類は無効です。

＜「開封無効」書類送付先＞（封筒表面に「免除申請書類在中」と朱書きしてください）

〒277-0831 千葉県柏市根戸 206-3 北柏ビル 2F　全国通訳案内士試験事務局

04-7131-6200（土日・祝日を除く 10：00～17：00）※提出された書類は返却しません。

＜有効期限＞　2025 年 7 月 10 日（木）消印まで有効です。※7 月 11 日（金）以降の消印による書類は無効

（消印はポスト投函日の当日に押印されない場合があります。ご注意ください）

＜送付方法＞**「簡易書留」または「レターパックプラス」で送付してください。**

※普通郵便やレターパックライトは不可。信書扱いのため、宅配便は受け取ることができません。

※海外居住の方は電子申請後 2 日以内に、居住地にて郵政事務を所掌する官公庁等が取り扱う公的配送会社**より送付してください。7 月 10 日（木）着分まで有効です　※以降の到着分は無効**

電子申請システム内の免除科目申請は以下の手順で必ず免除科目申請をしてください。

1．免除科目申請をする科目の右隣のチェックボックスに☑（チェック）を入れてください。（下図参照）
※前年度 5 科目合格者免除申請をする場合は、全ての科目にチェックが必要です。

2．必要な添付書類、入力項目のご案内が表示されます。表示された書類のアップロード、項目の入力をしてください。

3．申請ページ下部「確定する」ボタンをクリックしてください。

図：電子申請　科目選択画面（免除申請項目）



【免除申請　科目別】

＜他試験の保有資格による免除申請対象一覧＞

受験科目	免除項目
英語	(1) 英検免除　(2) TOEIC 免除
フランス語	(3) 仏検免除
スペイン語	(4) 西検免除　(5) DELE 免除
ドイツ語	(6) 独検免除
中国語	(7) 中検免除　(8) HSK 免除　(9)華語検免除
イタリア語	(10) 伊検免除
ポルトガル語	無し
ロシア語	無し
韓国語	(11) ハン検免除　(12) TOPIK 免除
タイ語	無し
日本地理	(13) 旅取免除
日本歴史	(14) 歴検免除　(15) 共通テスト日本史 B/旧日本史 B 免除
一般常識	(16) 共通テスト現代社会/旧現代社会免除
通訳案内の実務	無し

＜過去の全国通訳案内士試験結果による免除申請対象一覧＞

対象者	免除項目
前年度試験で合格科目がある方	(17) 前年度一部合格科目免除 (18) 前年度 5 科目合格者免除
過去試験の総合合格者	(19)　(他の外国語での) 既合格者免除 (20) 地域限定通訳案内士試験合格者免除　※一部地域のみ

＜各免除申請に関する詳細＞　※p. 20～22 の免除申請早見表も併せてご確認ください。

(1) 英検免除

・対象科目：英語

・免除資格：実用英語技能検定 1 級

・申請書類：「合格証明書」(和文のみ) ※デジタル証明書ファイル（json 形式）によるデジタル認定証の提出も可。デジタル証明書共有キーの送付は不可。

・有効期限：無し

(2) TOEIC 免除

・対象科目：英語

・免除資格：TOEIC（以下①～④のいずれか）※全て公開テストに限る。IP テストは対象外。

① TOEIC Listening & Reading Test 900 点以上

② TOEIC Speaking Test 160 点以上

③ TOEIC Speaking & Writing Tests の内、Speaking Test 160 点以上

④ TOEIC Speaking & Writing Tests の内、Writing Test 170 点以上 (※次ページに続く)

・申請書類：「公式認定証（OFFICIAL SCORE CERTIFICATE)」※デジタル認定証も可。URL 送付は不可。
・有効期限：**2024 年 4 月 1 日以降に取得した得点**

(3) 仏検免除

・対象科目：フランス語
・免除資格：実用フランス語技能検定試験 1 級
・申請書類：「合格証明書」または「合格証書」(和文のみ有効)
・有効期限：無し

(4) 西検免除

・対象科目：スペイン語
・免除資格：スペイン語技能検定 1 級
・申請書類：「合格証書」または「合格証明書」
・有効期限：無し

(5) DELE 免除

・対象科目：スペイン語
・免除資格：①～③のいずれか　①DELE C1　②DELE C2　③DELE Superior
・申請書類：「ディプロマ」「成績証明書　※PDF 形式のデジタル合格証書」
・有効期限：無し

(6) 独検免除

・対象科目：ドイツ語
・免除資格：ドイツ語技能検定試験 1 級
・申請書類：「合格証明書」(和文のみ有効)
・有効期限：無し

(7) 中検免除

・対象科目：中国語
・免除資格：中国語検定試験 1 級
・申請書類：「合格証明書」(和文のみ有効)
・有効期限：無し

(8) HSK 免除

・対象科目：中国語
・免除資格：中文水平考試 HSK 6 級 180 点以上（旧 HSK 高等試験 9 級以上）
・申請書類：「成績報告」　※「漢語水平考試」と表記された成績報告も有効
・有効期限：無し

(9) 華語検免除

・対象科目：中国語
・免除資格：華語文能力測験（TOCFL）Level6 精通級（C2）
・申請書類：「成績証明」または「合格証書」
・有効期限：無し

(10) 伊検免除

・対象科目：イタリア語
・免除資格：実用イタリア語検定 1 級
・申請書類：「合格認定証」または「合格証明書」
・有効期限：無し

(11) ハン検免除

・対象科目：韓国語
・免除資格：「ハングル」能力検定試験 1 級
・申請書類：「１級合格証明最高峰カード」または「成績証明書」
・有効期限：無し

(12) TOPIK 免除

・対象科目：韓国語
・免除資格：韓国語能力試験（TOPIK）6 級
・申請書類：「成績証明書」
・有効期限：無し

(13) 旅取免除

・対象科目：日本地理
・免除資格：【日本旅行業協会（JATA）実施】
総合旅行業務取扱管理者
一般旅行業務取扱主任者・一般旅行業務取扱主任者認定証保有者
【全国旅行業協会（ANTA）実施】
国内旅行業務取扱管理者
国内旅行業務取扱主任者・国内旅行業務取扱主任者認定証保有者
・申請書類：「合格証書」※旅程管理主任者（ツアーコンダクター）の資格は対象外
・有効期限：無し

(14) 歴検免除

・対象科目：日本歴史
・免除資格：歴史能力検定日本史 1 級・歴史能力検定日本史 2 級のうちいずれか
・申請書類：「合格証明書」
・有効期限：無し

（15）共通テスト日本史 B/旧日本史 B 免除

・対象科目：日本歴史

・免除資格：大学入学共通テスト「日本史 B」60 点以上または「旧日本史 B」60 点以上

※「歴史総合、日本史探究」は免除申請対象ではありません。

・申請書類：以下 2 点からどちらかを提出。

① 大学入試センター発行の「試験成績通知書（ハガキ）」（両面）

② 大学入試センター発行の得点を示す書類（開封無効・封筒のまま要郵送）

・有効期限：「2021 年 1 月実施」の試験から有効

（16）共通テスト現代社会/旧現代社会免除

・対象科目：一般常識

・免除資格：大学入学共通テスト「現代社会」80 点以上または「旧現代社会」80 点以上

※「公共、倫理」「公共、政治・経済」は免除申請対象ではありません。

・申請書類：以下 2 点からどちらかを提出。

① 大学入試センター発行の「試験成績通知書（ハガキ）」（両面）

② 大学入試センター発行の得点を示す書類（開封無効・封筒のまま要郵送）

・有効期限：「2021 年 1 月実施」の試験から有効

（17）前年度一部合格科目免除

・対象科目：2024 年度筆記試験結果にて「合格」と記載された科目

・免除資格：同上　※外国語は 2024 年度と同じ外国語に限る。

・申請方法：2024 年度の合格科目と受験番号（5 ケタ）の入力が必要

・有効期限：**2024 年度受験分に限り有効**

（18）前年度 5 科目合格者免除

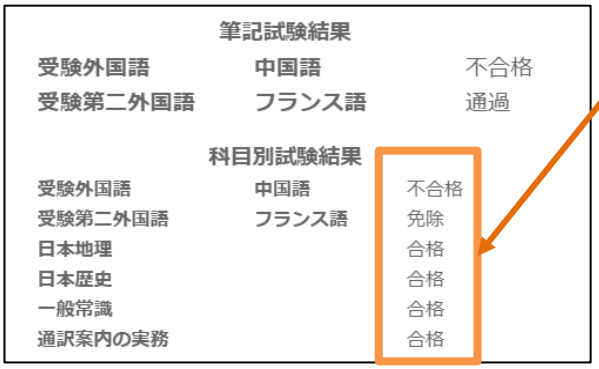
・対象科目：2024 年度筆記試験結果にて「合格」と記載された受験外国語含む 5 科目

・免除資格：同上　※外国語は 2024 年度と同じ外国語に限る。

・申請方法：2024 年度の受験番号（5 ケタ）の入力が必要

・有効期限：**2024 年度受験分に限り有効**

<u>図：筆記試験結果ページ</u>



（17）前年度一部合格科目免除

2024 年度試験にて**「合格」**と記載された科目のみ申請可能

※免除・不合格の科目は申請不可

（18）前年度 5 科目合格者免除

2024 年度試験にて受験外国語含む 5 科目すべて**「合格」**と記載された方のみ申請可能

※免除が含まれている方は申請不可

(19) 他の外国語での既合格者免除　※合格年度により免除申請対象科目が異なります。

【2018 年度～2024 年度合格者】

・対象者　：**平成 30（2018）年度以降に**全国通訳案内士試験合格の方で、他の外国語を受験する方
・対象科目：日本地理・日本歴史・一般常識・通訳案内の実務
・申請方法：合格年度・合格した外国語（合格言語）・合格番号の入力が必要
・有効期限：なし

【～2017 年度までの合格者】

※通訳案内士法附則第 3 条第 3 項に基づいた観光庁長官が行った観光庁研修を修了していない方

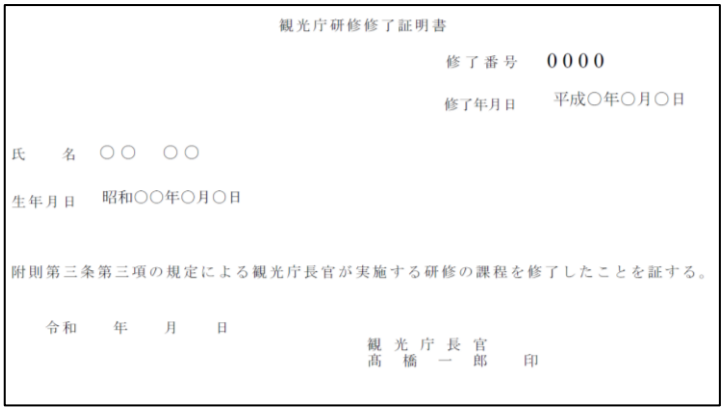
・対象者　：**平成 29（2017）年度までに**全国通訳案内士試験合格の方で、他の外国語を受験する方
・対象科目：日本地理・日本歴史・一般常識
・申請方法：合格年度・合格した外国語（合格言語）・合格番号の入力が必要
・有効期限：なし

【～2017 年度までの合格者】

※通訳案内士法附則第 3 条第 3 項に基づいた観光庁長官が行った観光庁研修を修了した方

・対象者　：**平成 29（2017）年度までに**全国通訳案内士試験合格の方で、他の外国語を受験する方
・対象科目：日本地理・日本歴史・一般常識・通訳案内の実務
・申請方法：合格年度・合格した外国語（合格言語）・合格番号の入力が必要
　　「観光庁研修修了証明書」の提出が必要　**※観光庁以外の団体による証明書は対象外**
・有効期限：なし

図：観光庁研修修了証明書（見本）


観光庁研修修了証明書

修了番号　0000

修了年月日　平成〇年〇月〇日

氏　名　〇〇　〇〇

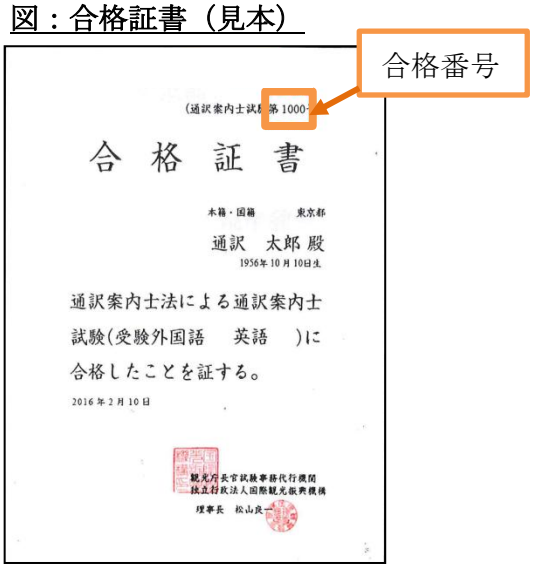
生年月日　昭和〇〇年〇月〇日

附則第三条第三項の規定による観光庁長官が実施する研修の課程を修了したことを証する。

令和　年　月　日

観光庁長官
高橋一郎　印

図：合格証書（見本）



(20) 地域限定通訳案内士試験合格者免除

・対象科目：英語・中国語・韓国語
・免除資格：地域限定通訳案内士試験合格者　※研修等で養成される特例特区ガイドは対象外
・申請方法：合格した外国語（合格言語）・合格した都道府県（北海道・岩手県・栃木県・静岡県・長崎県・沖縄県のいずれか）・合格番号の入力が必要
・有効期限：なし

６．免除申請早見表

免除申請がある場合は以下をご確認の上、電子申請システムより免除申請の手続きをしてください。

	申請の種類	対象者	筆記試験科目						申請書類	添付書類要否	免除申請有効期限の有無
			外国語		日本地理	日本歴史	一般常識	通訳案内の実務			
			英語 仏語 西語 独語 中国語 伊語 韓国語	その他							
(1)	英検 免除	実用英語技能検定 1級合格者	**英語 免除**						公益財団法人日本英語検定協会発行の**「合格証明書」（和文のみ有効）**を添付してください。**※デジタル証明書ファイル（json形式）によるデジタル認定証の提出も可。デジタル証明書共有キーの送付は不可。**	要	**無**
(2)	TOEIC 免除	TOEIC（①～④のいずれか取得者） ①Listening & Reading Test 900点以上 ②Speaking Test 160点以上 ③Speaking & Writing Testsの内、Speaking Test160点以上 ④Speaking & Writing Testsの内、Writing Test170点以上 ※全て公開テストに限る。 IP テスト（社内・学内で実施されている団体特別受験制度）は対象外。	**英語 免除**						Educational Testing Service発行のTOEICテストの**「公式認定証（OFFICIAL SCORE CERTIFICATE）」**を添付してください。 **※デジタル認定証も可（URL送付は不可）**※公式認定証は試験日から2年以内であれば再発行可能です。 ※海外で受験した場合はその国ごとに実施団体が違うのでご注意ください。	要	**有 2024.4.1以降に取得した得点**
(3)	仏検 免除	実用フランス語技能検定試験 1級合格者	**仏語 免除**						公益財団法人フランス語教育振興協会発行の**「実用フランス語技能検定試験合格証明書」**または**「合格証書」（和文のみ有効）**を添付してください。	要	**無**
(4)	西検 免除	スペイン語技能検定 1 級合格者	**西語 免除**						公益財団法人日本スペイン協会発行の**「合格証書」**または**「合格証明書」**を添付してください。	要	**無**
(5)	DELE 免除	DELE（①～③のいずれか合格者） ①DELE C1 ②DELE C2 ③DELE Superior	**西語 免除**						Instituto Cervantesが制作する**「ディプロマ」「成績証明書（PDF形式のデジタル合格証書も有効）」**を添付してください。	要	**無**
(6)	独検 免除	ドイツ語技能検定試験 1級合格者	**独語 免除**						公益財団法人ドイツ語学文学振興会発行の**「合格証明書」（和文のみ有効）**を添付してください。	要	**無**
(7)	中検 免除	中国語検定試験 1級合格者	**中国語 免除**						一般財団法人日本中国語検定協会発行の**「中国語検定試験合格証明書」（和文のみ有効）**を添付してください。	要	**無**
(8)	HSK 免除	中文水平考試 HSK 6 級 180 点以上 （旧 HSK 高等試験 9 級以上取得者）	**中国語 免除**						教育部中外語言交流合作中心発行のHSKの**「成績報告」**を添付してください。 ※「漢語水平考試」表記の成績報告も有効です。	要	**無**
(9)	華語検 免除	華語文能力測験（TOCFL） Level6 精通級（C2）合格者	**中国語 免除**						国家中国語能力試験推進委員会発行の**「成績証明」**または**「合格証書」**を添付してください。	要	**無**

	申請の種類	対象者	筆記試験科目						申請書類	添付書類要否	免除申請有効期限の有無
			外国語		日本地理	日本歴史	一般常識	通訳案内の実務			
			英語 仏語 西語 独語 中国語 伊語 韓国語	その他							
(10)	伊検 免除	実用イタリア語検定 1級合格者	**伊語 免除**						特定非営利活動法人イタリア語検定協会発行の**「合格認定証」**または**「合格証明書」**を添付してください。	要	**無**
(11)	ハン検 免除	「ハングル」能力検定試験 1級合格者	**韓国語 免除**						特定非営利活動法人ハングル能力検定協会発行の**「１級合格証明最高峰カード」**または**「成績証明書」**を添付してください。	要	**無**
(12)	TOPIK 免除	韓国語能力試験（TOPIK） 6級合格者	**韓国語 免除**						国立国際教育院発行のTOPIKの**「成績証明書」**を添付してください。	要	**無**
(13)	旅取 免除	以下のいずれか 【日本旅行業協会（JATA）実施】 総合旅行業務取扱管理者 一般旅行業務取扱主任者 一般旅行業務取扱主任者認定証保有者 【全国旅行業協会（ANTA）実施】 国内旅行業務取扱管理者 国内旅行業務取扱主任者 国内旅行業務取扱主任者認定証保有者 ※旅程管理主任者（ツアーコンダクター）の資格は対象外			**免除**				一般社団法人日本旅行業協会（JATA）または一般社団法人全国旅行業協会（ANTA）が発行する**「合格証書」**を添付してください。	要	**無**
(14)	歴検 免除	歴史能力検定（①、②のいずれか合格者） ①日本史１級 ②日本史２級				**免除**			歴史能力検定協会発行の「**合格証明書**」を添付してください。	要	無
(15)	共通テスト 日本史B 旧日本史B免除	大学入学共通テスト 「日本史B」または「旧日本史B」 60点以上取得者 ※「歴史総合、日本史探究」は不可。 ※大学入試センター試験は対象外。				**免除**			以下２点からどちらかを提出してください。 ①**大学入試センター**発行の**「試験成績通知書（ハガキ）」（両面）** ②**大学入試センター発行の得点を示す書類（開封無効・要郵送）** ※封筒の中身の確認が必要な場合は控えとして2通を同センターに請求してください。	要	**有** **2021年1月実施分以降**
(16)	共通テスト 現代社会 旧現代社会免除	大学入学共通テスト 「現代社会」または「旧現代社会」 80点以上取得者 ※「公共、倫理」「公共、政治・経済」は不可。 ※大学入試センター試験は対象外。					**免除**		以下２点からどちらかを提出してください。 ①**大学入試センター**発行の**「試験成績通知書（ハガキ）」（両面）** ②**大学入試センター発行の得点を示す書類（開封無効・要郵送）** ※封筒の中身の確認が必要な場合は控えとして2通を同センターに請求してください。	要	**有** **2021年1月実施分以降**

	申請の種類	対象者	筆記試験科目						入力内容申請書類	添付書類要否	免除申請有効期限の有無
			外国語		日本地理	日本歴史	一般常識	通訳案内の実務			
			英語 仏語 西語 独語 中国語 伊語 韓国語	その他							
(17)	前年度一部合格科目免除	2024年度筆記試験で 一部科目に合格の方 ※2024年度筆記試験結果通知にて**「合格」と記載された該当科目のみ**対象とする ※外国語科目を申請する場合は2024年度と同一外国語に限る。	**該当科目を免除**						申請科目を入力・選択し、2024年度の**受験番号（5ケタ）**を入力してください。 ※2024年度筆記試験結果通知を参照してください。	**否**	**有** **2024年度受験分に限り有効**
(18)	前年度５科目合格者免除	**「筆記試験合格証書」を所持している方が対象。** ※2024年度筆記試験全科目（筆記試験外国語、日本地理、日本歴史、一般常識、通訳案内の実務）を受験し、合格した方（口述試験が不合格または未受験の方を含む） ※2024年度受験時に**免除が含まれている場合（記試験結果通知に「通過」の科目がある方）は対象外。** ※外国語科目は2024年度と同一外国語に限る。	**筆記試験を免除**						2024年度の**受験番号（5ケタ）**を入力してください。 ※「筆記試験合格証書」に記載されている合格番号（9ケタ）ではありません。	**否**	**有** **2024年度受験分に限り有効**
(19)	（他の外国語での）既合格者免除	平成30（2018）年度以降に全国通訳案内士試験合格の方で、他の外国語を受験する方			**免除**	**免除**	**免除**	**免除**	合格年度（2018～2024年）と合格言語、合格番号（第〇号）を入力してください。 （所持する全国通訳案内士試験合格証を参照。合格年度は試験日起算です。合格証に記載された発行年ではありません）	**否**	**無**
		平成29（2017）年度までに通訳案内士試験合格の方で、他の外国語を受験する方 また、通訳案内士法附則第3条第3項に基づいた観光庁長官が行った研修を修了していない方			**免除**	**免除**	**免除**		合格年度、合格言語、合格番号（第〇号）を入力してください。 （所持する全国通訳案内士試験合格証を参照。合格年度は試験日起算です。合格証に記載された発行年ではありません）	**否**	
		平成29（2017）年度までに通訳案内士試験合格の方で、他の外国語を受験する方 また、通訳案内士法附則第3条第3項に基づいた観光庁長官が行った研修を修了した方			**免除**	**免除**	**免除**	**免除**	合格年度、合格言語、合格番号（第〇号）を入力してください。 （所持する全国通訳案内士試験合格証を参照。合格年度は試験日起算です。合格証に記載された発行年ではありません） 通訳案内士法附則第3条第3項に基づいた観光庁長官が行った研修を修了した際の「研修修了番号」を入力の上、「観光庁研修修了証明書」を添付してください。 ※観光庁以外の団体による証明書は対象外	**要**	
(20)	地域限定通訳案内士試験合格者免除	地域限定通訳案内士試験合格の方	**該当外国語を免除**						合格言語、合格した都道府県名、合格番号を入力してください。	**否**	**無**

※地域限定通訳案内士…平成29年度まで実施していた筆記試験の外国語科目（英語・中国語・韓国語）を国家試験と共通の試験問題を使用して都道府県が試験を実施する当該地域のみ（北海道・岩手県・栃木県・静岡県・長崎県・沖縄県）で有効な通訳案内士制度。研修等で養成される特例特区ガイドは該当しません。

７．受験票の交付

【筆記試験】8 月上旬頃よりマイページで受験票を公開いたします。郵送による交付はありません。
筆記試験の詳細（試験会場・試験時間・集合時間等）については筆記試験受験票をご確認ください。
※受験票の交付は願書申請が承認（受験手数料のお支払いを含む）された方が対象です。
※筆記試験の全科目について免除を受け、口述試験から受験される方にも、システムの仕様により、マイページで受験票が発行されますが、筆記試験を受験いただく必要はありません。
※受験票は試験当日に必ずご提示ください。スマートフォン等の画面に表示、またはプリントアウトしたものをご持参ください。

【口述試験】11 月中旬頃よりマイページで受験票を公開いたします。郵送による交付はありません。
口述試験の詳細（試験会場・試験時間・集合時間等）については口述試験受験票をご確認ください。

８．試験当日の注意事項について

試験当日の注意事項は、筆記試験・口述試験ともに受験票に記載します。
注意事項に違反した場合や係員の指示に従わない場合は受験ができなくなることがあります。

次の事項に該当する方は、会場に来られても受験いただけない場合がありますので予めご了承ください。
・体調不良（発熱、激しい咳、呼吸困難、息切れ、強いだるさ等）がある方
・感染症等に罹患し治癒していない方
・他の受験者に対する迷惑行為が認められた方
・試験監督員等の指示に従わない方　等
なお、これらを理由としての再試験の実施および返金はいたしません。

９．合格後の手続き

試験の最終合格者が全国通訳案内士として認定されるには、居住地の都道府県知事あてに申請し、登録する必要があります。登録には期限はありません。
登録に関しては、都道府県観光担当部署にお問い合わせください。

外国居住の合格者が全国通訳案内士として登録する場合、日本居住の代理人を定めて代理人の住所地に登録申請することとなります。この代理人となれるのは、原則、全国通訳案内士等の手配を行っている者、または登録が行われることを条件に手配を行うことを予定している合格者と手配契約（条件付のものを含む）を結んでいる者（個人または法人）です。外国居住の合格者が登録申請をする際には、代理人も都道府県の窓口に出向くことになります。

その他、全国通訳案内士制度に関しては、観光庁ホームページもご参照ください。
https://www.mlit.go.jp/kankocho/seisaku_seido/tsuyaku_guide/index.html

10. お問い合わせ先

「全国通訳案内士試験事務局」

電 話：04-7131-6200（土日・祝日を除く 10：00～17：00）

〒277-0831 千葉県柏市根戸 206-3 北柏ビル 2F

日本政府観光局（JNTO）は、2025 年度全国通訳案内士試験に係る事務手続き、試験運営業務等を日販セグモ株式会社に委託しています。

11. 個人情報保護方針について

日本政府観光局（JNTO）個人情報保護方針

https://www.jnto.go.jp/site-info/privacy-policy.html

全国通訳案内士試験出願及び試験により取得した個人情報は、全国通訳案内士試験実施事務及び統計目的以外に使用することはありません。

受験を希望される方は、上記に同意のうえ、電子申請を行ってください。

電子申請システムトップページ　https://shiken.jnto.go.jp/

12. よくある質問（Q＆A）

Q．施行要領・願書はどこでもらえますか？
A．2021 年度から完全電子申請化に伴い、印刷物による施行要領・願書の配付は行っておりません。 出願方法、願書申請方法については電子申請ページ及び施行要領をご確認ください。 電子申請システムトップページ　https://shiken.jnto.go.jp/ ※施行要領は毎年変わります。最新の施行要領を確認してお申し込みください。
Q．試験会場はいつ頃わかりますか？
A．試験会場はマイページで公開する受験票に記載いたします。筆記試験は 8 月上旬頃、口述試験は 11 月中旬頃に公開予定です。試験会場に直接電話等で照会することは、固くお断りいたします。 また、参考情報として過去の受験会場をご案内することはできません。
Q．受験地・選択外国語等を変更できますか？後から免除申請を追加できますか？
A．願書承認後の選択外国語・受験地・免除申請の変更・追加はできません。 申請期間終了後から筆記試験当日までに検定試験等に合格した場合や、TOEIC 等で基準点以上の得点を得た場合でも、新たに免除申請することはできません。
Q．申請後に氏名・本籍（国籍）・住所が変わったのですが、変更できますか？
A．住所に変更があった場合はマイページ上でいつでも変更が可能です。氏名・本籍（国籍）の変更は事務局にて行います。10 ページの「3（3）申請完了後の変更について」をご確認ください。
Q．免除申請書類の提出はどうするのか？
A．マイページよりアップロードをお願いいたします。13 ページの「5. 免除申請について」をご確認ください。 大学入試センターからの「開封無効」書類のみ郵送で受け付けます。（送付先は 14 ページ参照）
Q．免除申請書類はコピーでも可能でしょうか？
A．アップロードの元となる手持ちの免除申請書類はコピーでも構いません。 但し、大学入試センターより発行される「開封無効」の書類を証明書類とする方はコピー不可となります。 開封せずに封筒のまま郵送でご提出ください。開封されている書類は無効です。 20 ページの「6. 免除申請早見表」をご確認ください。
Q．免除申請するための添付書類は、有効期限がありますか？
A．取得時期に制限がある資格（TOEIC・大学入学共通テスト）以外の書類はいつのものでも構いません。 必要書類がお手元になく、発行元で再発行ができない場合は免除申請できません。
Q．免除申請に必要な受験番号を忘れてしまった。
A．お調べいたしますので、全国通訳案内士試験事務局（電話番号：04-7131-6200）までお電話いただくか、電子申請ページ内のメールフォームにてご連絡ください。
Q．参考書や教科書の販売をしていますか？
A．日本政府観光局（JNTO）では、参考書や教科書等の販売は行っていません。 過去の筆記試験問題の一部（解答例含む）をウェブサイト上で公開しています。 https://www.jnto.go.jp/projects/visitor-support/interpreter-guide-exams/past-exam-archives/
Q．日本地理、日本歴史、一般常識、通訳案内の実務の出題範囲について知りたい。
A．詳しくは全国通訳案内士試験のガイドラインをご確認ください。 https://www.mlit.go.jp/kankocho/content/001882032.pdf
Q．受験をキャンセルしたいのですが、受験手数料の払い戻しは可能でしょうか？
A．受験手数料支払後は、通訳案内士法第 10 条により、返金いたしません。また、申請の取消しもできません。
Q．試験結果の内容について問い合わせたい。
A．試験得点及び合否の照会にはお答えできません。 また、採点に関するお問い合わせには応じられません。

※電子申請システム内でよくあるご質問を公開しております。合わせてご確認ください。

電子申請システムトップページ　https://shiken.jnto.go.jp/